

Study Plan2 リサーチとは

大使となったみなさんは、これから会議までの間に会議に向けた準備をすることになります。その準備を模擬国連では「リサーチ」と呼びます。そこで今回は、リサーチを進める上での前提や、そもそもリサーチとは何なのか、何を目的とすれば良いのかということを説明します。

1. リサーチの前提

まず、リサーチを進めていく上で常に意識してほしいことを2点説明します。

1.1. 情報を取捨選択する

リサーチで集めた情報を、適切に取捨選択することはとても重要です。なぜなら、私たちが入手できるエネルギー問題や担当国に対する情報の量は膨大なためです。例えば、「エネルギー安全保障」や担当国の国名をホームページで検索しただけでも膨大な件数が検索されると思います。それらのすべてを調べることは不可能です。なぜなら、みなさんがリサーチにかけることのできる時間は限られているからです。従って、無限とも言える情報を取捨選択することが、リサーチにおいては必要です。

1.2. 目的意識を持つ

リサーチをするときには、情報を選ぶ必要があることを前の項で述べました。情報を選ぶには、基準となる目的が必要です。例えば、英語の参考書を選ぶときには、必要とするレベルや中身(単語帳なのか長文読解なのかなど)を明確にしないと、自分にあった参考書を選ぶことはできません。

同じように、リサーチをするときも自分の知りたい情報を明確にした上で、情報源に当たる必要があります。何を目的として、その書籍やホームページのサイトに当たるのかということを意識して、情報の洪水に飲み込まれないようにしましょう。

2. リサーチの目的

「担当国の理想と現実のギャップを把握し、ギャップを埋める方法とその根拠を明確にすること」、これがリサーチの目的です。

「ギャップを埋める方法」に当たるのが、みなさんが考えるべき担当国の政策です。同時に他国を納得させるための根拠も考える必要があります。



3. リサーチの5段階

リサーチには大きく以下の5つのステップがあります。以下に挙げた方法がすべてではありません。必ず上から順番にやっていく必要もありません。あくまでも一例として考えていただければと思います。

3.1. 国を知る¹

国に関する情報としては、場所や人口といった基礎的な情報や、一次エネルギーの消費量や一次エネルギーに占めるエネルギー源の割合、エネルギー資源の輸出量や輸入量などの議題に関係する情報があります。

3.2. 議題を知る²

議題を知ることは、まず議題概説書(BG: Background Guide)を読むことから始まります。議題概説書を読む中で、分かりづらかったり、担当国に利害があってより深く調べたいところが出てくると思います。その際には、議題概説書の巻末にある参考文献リストなどを参照しながら、本やウェブサイト調べてみるとよいでしょう。

3.3. 政策立案³

¹ 国を知るためのリサーチの方法については、3回目のスタディプランで説明します

² 議題を知るためのリサーチの方法については、4回目のスタディプランで説明します

³ 政策立案については、6回目のスタディプランで説明します

担当国における理想と現実のギャップを埋めるための方法が政策立案です。最初は大まかなものしか思いつかないかもしれません。しかし、政策の理由を考えていくうちに徐々に具体的になることもあります。従って、まずは大枠だけでも考えて、理由付けを考えながら具体的にしていくように意識して下さい。

3.4. 政策立案の理由付け

政策を考えたら、他国になぜその政策を行うかを説明するための根拠を考えます。しっかりと政策の根拠があれば、他国を説得することのできる可能性が高まります。他国を納得させることができなければ、その政策が載った決議は採択されません。採択されないと、その政策は実行に移されることはありません。

また、採択されるときも多くの国の賛成を得られれば、より政策の実効性が増します。他国を説得する際には、政策の必要性だけでなく、自国の政策が他国にとっても利益になることが明確にできればより望ましいです。

3.5. 他国を知る

余裕があれば他の国の状況も自国と同様に調べてもよいでしょう。しかし、時間的にすべての国を調べることは難しいです。従って、例えば自国の主張と真っ向から対立する国や、逆に自国と状況が似ていて協調できそうな国に絞って調べておくことが考えられます。

以上で今回のスタディプランは終了です。次回のスタディプランでは、国を知るためのリサーチの方法を説明します。

文責：JCGC